

第六次総合計画 施策評価シート（令和3年度）

1-④

施策

子どもたちが緑や生き物などの自然にふれながら、学べる機会を提供する

担当部局

教育委員会、環境リサイクル局

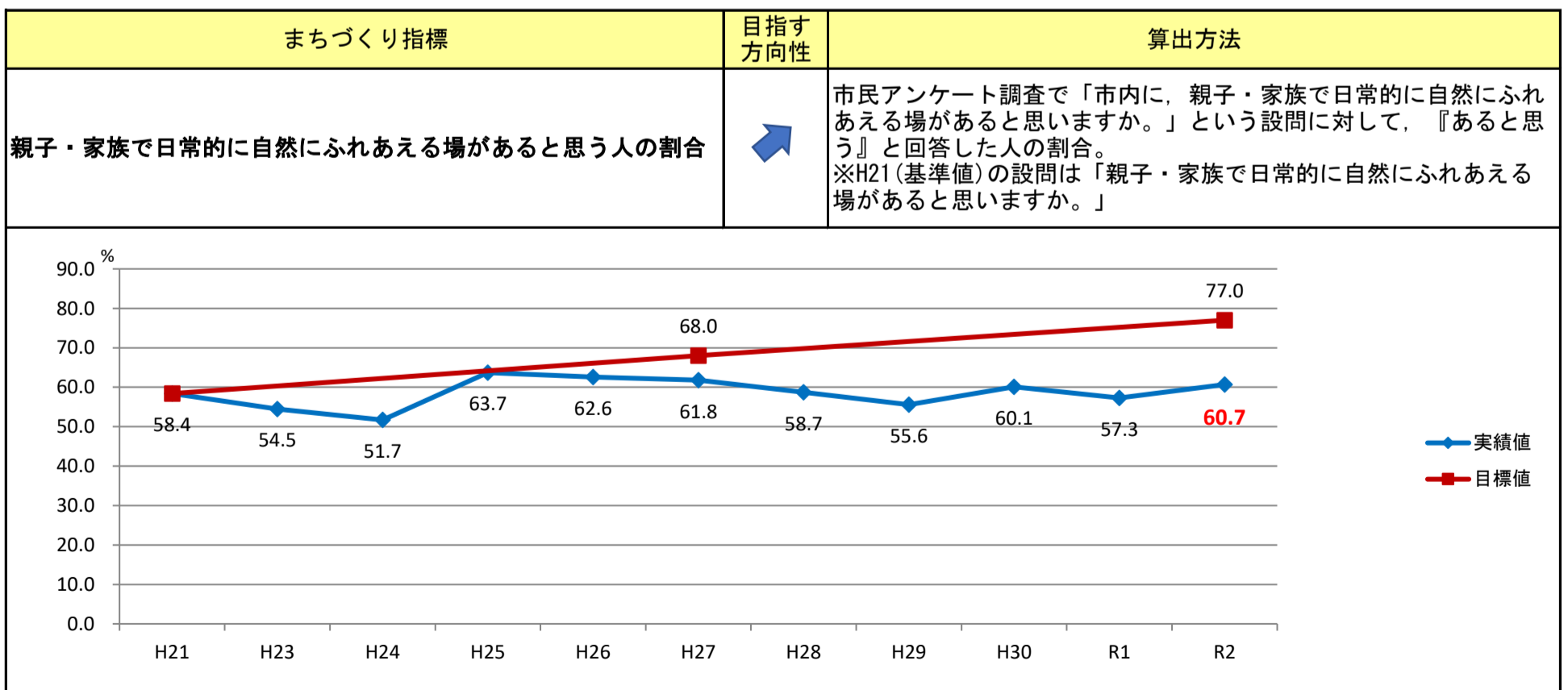
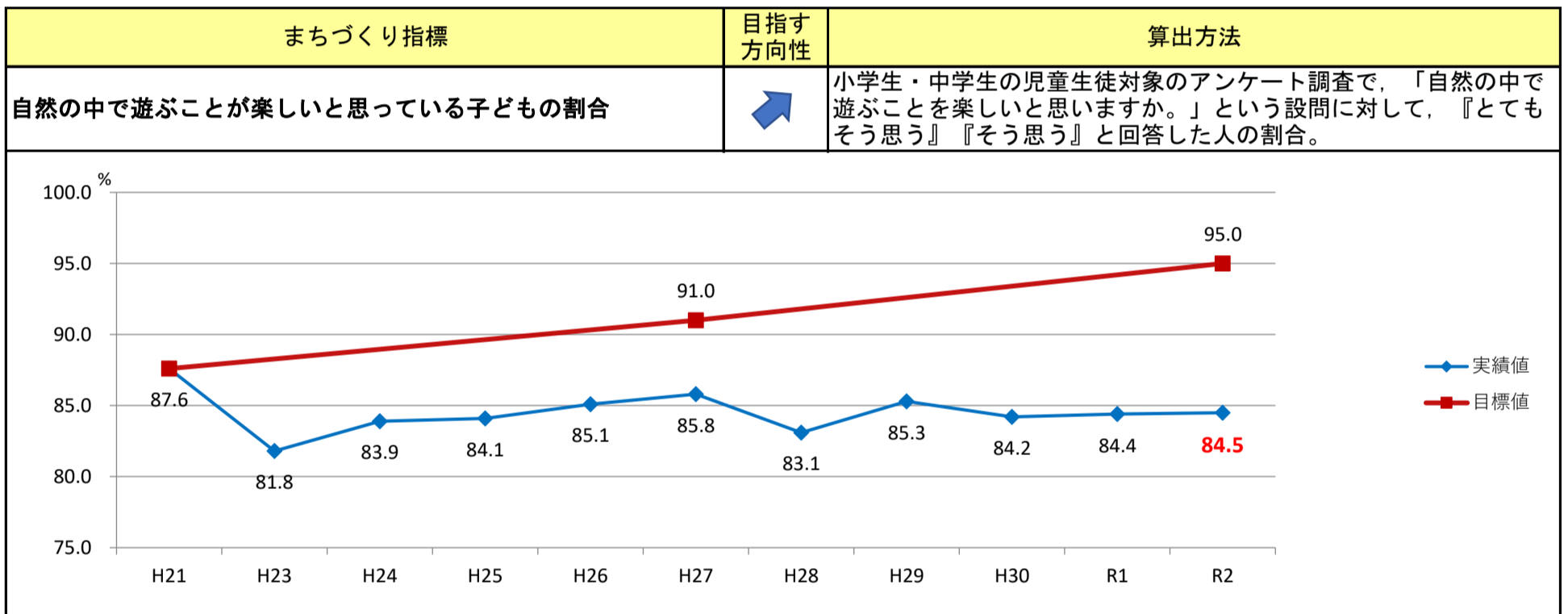


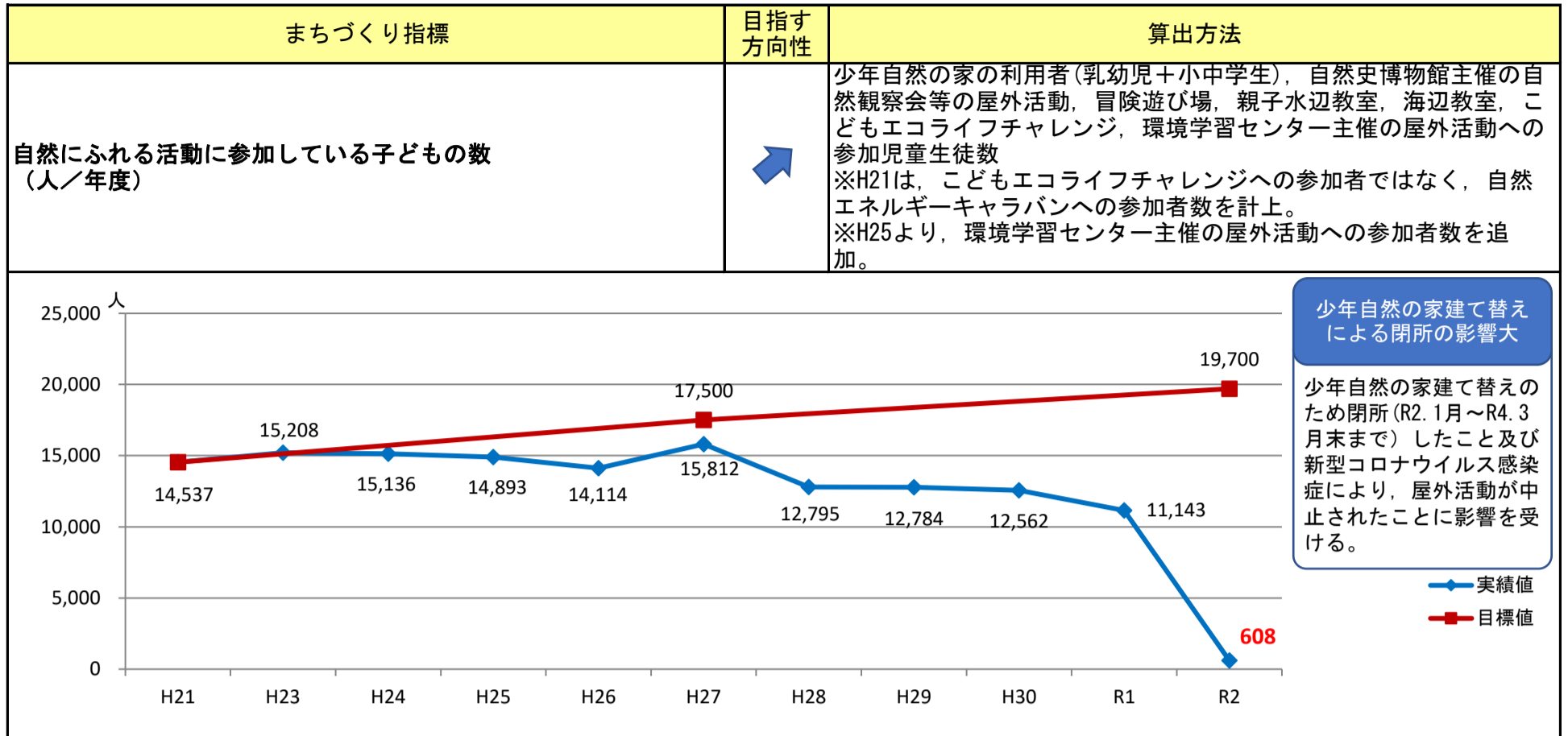
【豊か】めざまちの姿 子どもたちが自然にふれながら、健やかに育っている

市の基本方針

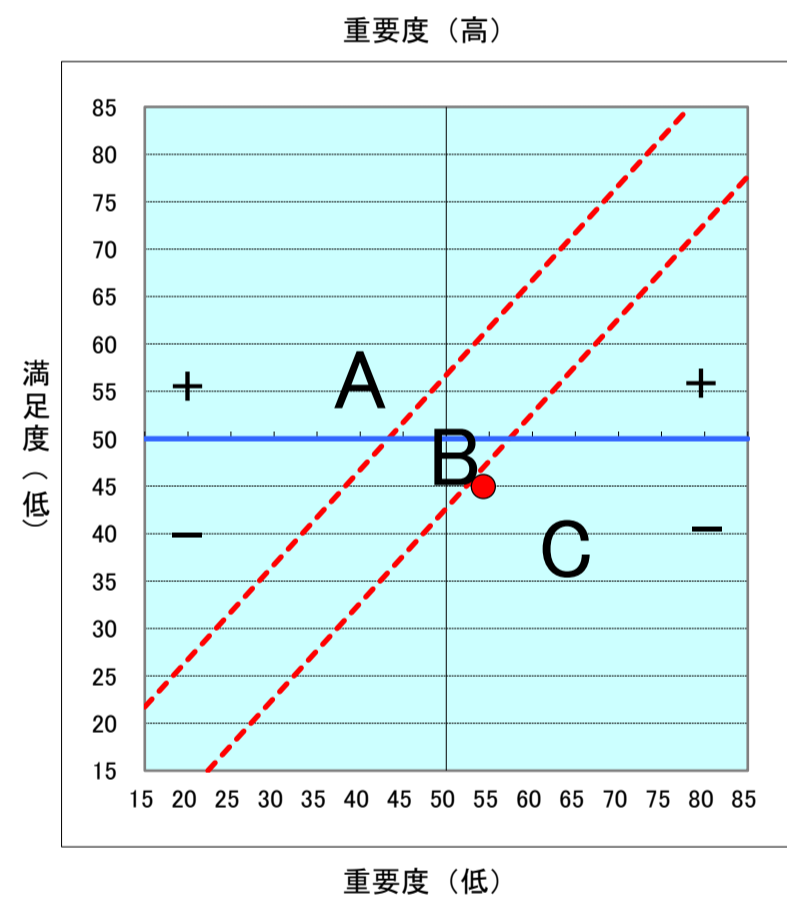
- 次世代を担う子どもたちが四季を通して緑や生き物などの自然とふれあう中で、楽しさや喜び、またいのちの大切さを実感できるよう、自然体験活動の機会を充実します。
- 学校と地域のボランティアや市民団体、事業者等が連携し、子どもの環境教育を効果的に実施するよう努めます。
- 子どもたちの自然体験活動を支援する指導者やボランティアなどの育成と資質向上を図ります。
- 子どもたちの自然への興味や関心を高め、自らの学びを支援するため、計画的に施設や設備の充実に努めます。

数値目標





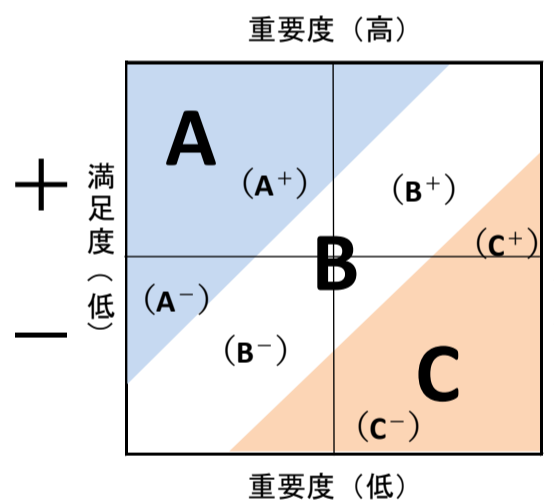
市民の重要度・満足度 (R3. 5アンケート調査結果)



領域	偏差値	
	重要度	満足度
C ⁻	44.95	54.30

●重要度に見合う以上の満足度が得られている (C)
●重要度が平均値より低い (-)

【グラフの見方】



- A : 重要度に見合った満足度が得られていない領域
- B : 重要度に見合った満足度が得られている領域
- C : 重要度に見合う以上の満足度が得られている領域
- ※ 以上の3つの領域を, さらに2つに分割 (3×2領域)
- + : 重要度が平均値より高い部分
- : 重要度が平均値より低い部分
- A⁺, A⁻, B⁺, B⁻, C⁺, C⁻
- A⁺ : 重要度が高く, その重要度に見合った満足度が得られていない領域

施策を推進する主な事業の評価

区分	事業名	目的(Ⅰ)／令和2年度の主な実績(Ⅱ)／今後の方向性(Ⅲ)	R2年度 決算額 (千円)
	環境学習推進事業	(Ⅰ) 市民に環境問題に関心を持ち、理解を深めてもらう。 (Ⅱ) 環境NPO・企業等と連携・協力し、座学形式・体験形式など各種講座を22講座実施し、295人の参加があった。 (Ⅲ) 継続して実施する。	1,615
	環境学習協働推進事業	(Ⅰ) 専門的知見を有する環境NPOと協働による環境学習の推進 (Ⅱ) 子ども向けから一般向けを含め3事業を実施し、30人の参加があった。 (Ⅲ) 継続して実施する。	190
	自然史博物館調査研究、標本・文献等収集、展示、特別展事業	(Ⅰ) 資料収集や調査研究の成果を展示し、市民の教養文化の向上に寄与する。 (Ⅱ) 自然に関する総合調査研究を行い、研究報告第36号を発行した。標本等約7,600点の受入れと文献等2,717点の登録を行った。また、「新着資料展」等の特別陳列や特別展「岡山県のレッドデータ生物2020」を開催した。 (Ⅲ) 様々なニーズへの対応を図りながら、継続して実施する。	4,482
	自然史博物館教育普及、まつり事業	(Ⅰ) 学校園や市民への学習支援を行い、次世代における人材育成に貢献する。 (Ⅱ) 自然観察会や各種講座を開催し、参加者数は2,082人であった。また、自然史博物館まつりは、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止したが、代替として規模を縮小したワークショップや講座を開催した。 (Ⅲ) 様々なニーズへの対応を図りながら、継続して実施する。	460
創	高梁川流域出前自然史博物館事業	(Ⅰ) 高梁川流域住民全体の自然に関する興味・教養を高める。 (Ⅱ) 「高梁川流域自然たんけん」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止とした。「まちかど博物館」は展示ユニットの更新を行い、紹介リーフレットを作成した。新規貸出しは14施設32台あった。 (Ⅲ) 様々なニーズへの対応を図りながら、継続して実施する。	137
	冒険遊び場支援事業	(Ⅰ) 民間団体の「冒険遊び場」活動を支援し、自然体験活動の機会の充実を図る。 (Ⅱ) 毎月第3日曜及び夏休み2日間連続開催を合わせて、計11回開催し、505人(大人205人、子ども300人)が参加した。 2月と3月は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。 (Ⅲ) 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から「新しい生活様式」を取り入れながら、継続して実施する。	102
	少年自然の家施設の管理・整備・美化事業	(Ⅰ) 体育館、いろりの家の耐震工事・修繕を行い、維持管理のため清掃作業を行う。 (Ⅱ) 体育館、いろりの家の耐震補強工事・修繕は、令和3年5月まで工期を延長して実施する。また、清掃作業のための作業員を配置するなど、適切な維持管理を行った。 (Ⅲ) 閉所期間中は維持管理が必要なため、継続して実施する。	16,119
創	少年自然の家PFI施設整備運営事業	(Ⅰ) PFI手法を活用した施設の更新及び指定管理方式による運営を行う。 (Ⅱ) 少年自然の家施設整備のための設計・建設に係るモニタリング等支援業務を行った。 (Ⅲ) 令和4年4月1日供用開始予定。事業期間である令和19年1月31日まで継続して実施する。	8,120